

誕生から最期まで

南房総で生きる



看護師の視点で、命と暮らしに寄り添う政治

川崎 ようこ

プロフィール

1975年 千葉県千葉市生まれ
1993年 東海大学付属望洋高校卒業
1998年 東海大学医療技術短期大学卒業
同年、看護師国家資格取得
東海大学医学部付属病院、神奈川県立厚木病院、
東海大学医学部八王子病院、総合病院勤務

現在、フリー看護師として
ツアーナースや検診業務に従事

川崎ようこ 連絡先

〒295-0011
千葉県南房総市千倉町北朝夷 212-1
エストプラザ内「川崎ようこ後援会事務所」

☎ 090-3914-4646
✉ natty136208natty@gmail.com

川崎ようこ公式
Youtube
Instagram



発行 / 川崎ようこ後援会事務所

私の活動を紹介しています
ぜひご覧ください！



後援会入会案内 討議資料

ごあいさつ

南房総市が誕生してから、20年が経ちました。私がこの南房総市に嫁いできてから、9年になります。

温暖な気候、豊かな自然、そして人のあたたかさ。
この地域に暮らし始めて間もなく、私は南房総市が大好きになりました。

一方で、この地域に暮らす中で、少子高齢化の進行、学校の統廃合、施設の老朽化、
生活に欠かせない重要な施設が通いにくい場所に建設される現状、
交通機能の整理によって日々の暮らしが不便になっていることも実感してきました。

また、働く場所が限られているため、地域で育った子どもたちが、
やがてこのまちを離れていく現実もあります。

それでも私は、海や緑に囲まれた大自然、稲作や漁業、
花や果樹栽培といった一次産業の素晴らしさ、
そして何より、地域の皆さまのやさしさに触れ、
「この南房総市を守りたい」と強く思うようになりました。

南房総市誕生 20年という節目の年にあたり、
私は「誕生から最期まで、南房総で生きる」という想いを掲げ、
看護師として、そして一人の主婦として、皆さまの暮らしに寄り添い、
安心して生き続けられる地域を守っていく決意です。

川崎ようこ



川崎ようこ 構想の4本柱

01

看護師の強みを活かした 【地域医療】

— 誕生から最期まで、南房総で生きる —



看護師として、そして一人の主婦として、皆さまの暮らしに寄り添い、安心して生き続けられる地域とは何か？わたしの考えをご説明します！

医療機関が限られる地域だからこそ、「治す医療」だけでなく「支える医療」「予防する医療」を重視します。

- 1 医療機関が限定される地域に必要な、予防・フレイル対策の推進
- 2 高齢者の転倒・筋力低下・認知機能低下を早期に発見し、重症化を防ぐ
- 3 住み慣れた地域で、最期まで安心して暮らせる在宅医療・看取りの支援
- 4 子どもからシニアまで、夜間・休日の「どうしよう…」を減らす相談体制の整備

02 【南房総市の魅力発信】

— 南房総の価値を、未来へつなぐ —

南房総市は、ロケ地に選ばれるほどの自然や景観、食・文化など、全国に誇れる観光資源と特産が豊富な地域です。その魅力を整理し、次の世代へつなげていきます。

- 1 地元の人と手を取り合い移住者も同じ「南房総人」として暮らせる地域づくり
- 2 災害時の備えや地域での助け合いを日常から育み、地元の人も移住者も含め、誰もが安心して暮らせる仕組みの整備
- 3 南房総市の豊富な観光資源や特産を活かした魅力発信
- 4 観光・移住・定住につながる、持続可能な地域の仕組みづくり



03 【地域とつながる学び】の推進

— 教室の外に、学びがある —

南房総市ではICT教育はすでに進んでいます。だからこそ次の段階として、人・地域とつながる学びを広げます。

- 1 ICTを活用しつつ、ICTだけでは補えない学びを大切にする教育の推進
- 2 既存の「南房総学」をさらに発展させ、地域で採れた食を通じて第一産業への理解を深める学び
- 3 さまざまな理由で教室に入れない子どもも含め、一人ひとりが「自分の役割」を感じられる環境づくり型の学び
- 4 完全米飯の「日本一のご飯給食」を継続し、食育を通じて子どもたちの心と身体の成長を守る
- 5 世代を超えて学び合い、地域の力を次世代へつなぐ教育



04 「食」を起点に、人がつながり、孤立しない南房総をつくる

— 地域に開かれた“居場所”の仕組みづくり —

- 1 学校・公共施設・空き施設など、既存資源を活かした“居場所”の仕組みづくりを推進
- 2 鋸南町「保田小学校」等も参考に、食・学び・交流が自然に交わる場の形成を支援
- 3 「誰かが無理をして提供する場」ではなく、地域・行政・民間が役割分担し持続可能に運営できる体制を整備
- 4 食をきっかけに、自然な会話や見守りが生まれる環境づくりを推進
- 5 子ども・若者・子育て世代・高齢者・移住者が、立場を超えて日常的に関われる機会を拡充
- 6 顔の見える関係性を活かした地域力を育み、防災・見守りにもつながる孤立しない地域づくりを支援



Yummy!

